



日本海を超えていく



130周年

校長 佐藤雅秀

まもなく粟島浦小中学校では、文化祭を迎えます。令和4年度の文化祭は、創立130周年記念という冠のついた特別な学校行事で、学校ではそれを記念して、特別展示を開催する予定でいます。内容は、今日まで残る学校にまつわる写真を年代ごとに展示するもので、往時にタイムスリップすること間違いなしです。

それにしても130年という長きにわたって粟島浦村の子どもたちをずっと見守り続けてくれたこの校舎(小学校、中学校でそれぞれ異なりますが)はどのように時代を見つめてきたのでしょうか。

130年前の1892年(明治25年)10月に粟島浦村立粟島浦尋常小学校が修業年限3年で開校しました(それ以前にも、1872年(明治5年)の学制発布以来、島内に教師を招いて寺子屋風の教場がありました。ちなみに市制・町村制が1889年(明治22年)に施行され、粟島浦が名称をそのままに村制施行しました。村政の始まりです)。この年から数えて130年目にあたる年が2022年(令和4年)ということになります。この明治25年という年はどんな年だったのでしょうか。

- 1月 新潟市で自由・改進黨派の有志懇親会開催(第2回総選挙に向けての提携や候補者擁立の協議)。越佐同盟会の一部が国憲党を結成。
- 2月 第2回総選挙。
- 3月 新潟県が「学齡児童就学規則」を制定。就学督促を強める。
- 7月 新潟県立尋常中学校(現新潟県立新潟高等学校)が開校する。
- 11月 道路のルート変更に関わる収賄事件が発生(稲堀事件)。

(『新潟県史』通史編7 近代二)から一部抜粋)



総選挙を踏まえた政治に関する内容や教育に関する内容が記載されていますし、名称も時代を感じさせますね。年表に記載されている内容はこれだけですが、その背景には、その時代を生きた表舞台には出ない無数の庶民の息づかいを感じることができます。想像を巡らせてみるのも面白いのではないのでしょうか。

さて、明治25年から今日に至るまでの間には、明治、大正、昭和、平成、令和といった様々な時代がありました。それぞれの時代に政治があり文化があり、その時代を創りあげた人たち(全国民)がいます。明治の人が令和を見たら…、平成の人は大正をどう感じるだろうか…等、生きた時代の感覚で他の時代をのぞいてみたらと思うと、想像が膨らみます。

粟島浦小中学校では、130年という年月を刻んで現在に辿り着いたこの学校をお祝いして、大運動会と文化祭を周年行事に位置づけています。運動会では、児童生徒、保護者、地域の方と一緒にジェット風船を飛ばしました。みんなで打ち上げた風船が青空に向かって飛んでいく様子は、今後子どもたちや粟島浦村の飛躍とこれからの未来を切り拓いていこうというメッセージのように見えました。文化祭では、冒頭でお伝えしたようにアルバムを紐解いてもらいます。130年分(そんなにはありませんが)の粟島浦村の年輪をどうぞ御覧ください。



粟島っ子の活躍が評価されています

～各種表彰式の様子～



学校生活を思いっきり楽しみ、様々なことに挑戦する。そんな日々の積み重ねが着実な力となり、各方面で評価され、数々の表彰を受けています。上記の写真は、10月3日の全校集会時における表彰の様子です。その後も数々の受賞報告があり、近日、表彰する予定です。具体的な表彰内容は、以下にまとめたので御覧ください。本当におめでとうございます。粟島っ子、すごい！！

○令和4年度 第13回村上市岩船郡小学校陸上記録会

6年生男子走り高跳び 第5位 本保 智洋 さん 記録:1m20cm

○第30回 十五夜月見の会

特選 菊池 芙優 さん(6年生)「秋が来て ピチャピチャおどる さんまたち」

佳作 松浦 汐里 さん(5年生)「耳すまし 聞こえてくるよ 石や～きいも～」

○令和4年度 小学生人権標語コンテスト

優秀賞 中村 さあな さん(6年生)「その言葉 返ってきたら どう思う？」

佳作 松浦 海斗 さん(6年生)「おはようは いじめがおきない 第1歩」

○令和令和4年度 トキめき 体力づくり認定書

世良 ことは さん(1年生) 松浦 夏海 さん(2年生) 渡邊 慧子 さん(3年生)

脇川 夕芙 さん(4年生) 瀬知 心佳 さん(5年生) 中村 さあな さん(6年生)

本保 智洋 さん(6年生)

○第72回 全国小・中学校作文コンクール・都道府県審査

優秀賞 實生 紬希 さん(中学2年生)

○新潟県 少年の主張大会・わたしの主張 村上岩船地区審査

奨励賞 深沢 菜々子 さん(中学2年生) 題「私にできること」

○税についての作文(村上税務署管内・納税貯蓄組合連合会)

粟島浦村長賞 本保 雄翔 さん(中学校3年生) 題「なくてはならないもの」

優しい声が心に響きます

～図書班の読み聞かせの様子～



保健図書委員会(図書班)主催の読み聞かせがありました。今回は、小学校は、松浦汐里さん、中学校は、實生紬希さんが読み聞かせを行いました。多くの児童生徒、教職員が集まり、優しい語りかけが、温かい空気を創りました。読み聞かせが終わると、みんな優しい表情になっていました。とっても素敵な時間でした。



実りの秋！枝豆の収穫をしました

～枝豆収穫作業の様子～



10月12日に枝豆の収穫・選別作業を行いました。春から中学2年生が中心となって育ててきた枝豆を全校の児童生徒で収穫・選別し、豆は、ばっけ屋(業者)さんに出荷しました。何よりも秋の収穫を楽しみに、一生懸命にニコニコと活動する児童生徒の姿が印象的でした。



創立130周年をわっぱ煮で祝いました

～小中合同わっぱ煮会の様子～



10月24日に創立130周年を記念し、例年、小学校行事として行っているわっぱ煮を小中合同で開催しました。味噌は、昨年度小学生が作ったものを使用し、小学生はわっぱ煮で使う石拾いを、中学生はうろこや内臓を取るなど、魚の下ごしらえを行いました。粟島の伝統料理であるわっぱ煮を自分たちで作り、みんなで粟島の恵みを味わう。自然と笑みがこぼれ、充実感に満ち溢れた一日でした。



「子育てについて」みんなで学びました

～PTA主催家庭教育講演会の様子～



10月13日にPTA主催の家庭教育講演会を行いました。昨年度に引き続き当校のスクールカウンセラーである遠山修子先生をお招きし、思春期を迎える子どもとの関わり方についてお話しされました。「子育てのヒント」と称し、ハッピーな親子関係になるヒントを御自身の経験や研修を踏まえて、分かりやすくお話しされました。また、今後の予定として、今年度最後の遠山先生によるカウンセリングが、11月28日(月)に予定されています。後日、御案内させていただきますので、よろしく願いいたします。

日々の授業を見ていただきました！～研究授業の様子～



10月21日に市町村支援事業学校訪問が行われ、下越教育事務所から学校支援第2課 課長 田中一史様をお招きして、研究授業を行いました。5校時には、小中の全授業を、6校時には、中学校2年生の社会科の授業を参観され、職員全員で研修を深めました。古川教諭の指導のもと、生徒が意欲的に楽しく授業を展開し、課題に本気になって取り組む姿に田中先生も感動され、研修会では、粟島浦小中学校の児童生徒のレベルの高さに驚かれた御様子でした。また、教職員の指導や学校全体での取組に関しても高く評価していただき、これからも自信をもって子供たちと活動し、学校教育に邁進していくことを確認できた一日となりました。



古川 夏希教諭

文化祭の準備に燃えています！

～文化祭準備の様子～



文化祭を間近に控え、子どもたちの準備にも熱が入ってきました。合唱や合奏、劇や作品づくりと、毎日を慌ただしく送っています。校舎をまわっていて、子どもたちの様子を見て思うのですが、いつも一生懸命で、仲間との時間を大切に、笑顔と歓声がそこにはあります。見ていて感動が伝わってきます。とっても素敵に感動溢れる文化祭になると確信していますので当日は、発表に乞う御期待ください。

